

防災ピクトグラム・ツールの標準化

ノーミング(統一期)

実装にむけた仕組み・システム

2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017

NPO法人 防災デザイン研究会 30周年記念展

# 防災研究者と デザイナーの 協同研究の

# 30年

「あまねく・うつくしく・わかりやすく」  
をめざして

近年、地震・津波・風水害など自然災害が頻発し、私たちの暮らしは危機にさらされています。こうした状況で、災害への備え、被害軽減、復旧・復興を支えるデザインの役割はこれまで以上に重要です。防災デザインは、単なる情報伝達にとどまらず、人々の意思決定や行動を導き、いのちと暮らしを守る総合的な取り組みです。避難誘導サインやハザードマップ、災害時のコミュニケーション、地域防災計画、被災者の生活再建を支える仕組みづくりなど多岐にわたります。本展では、阪神・淡路大震災(1995年)の翌年、防災研究者とデザイナーの協同研究から始まった「防災ピクトグラム研究会」を母体に、正確な情報をわかりやすく届ける「伝わるデザイン」を軸に活動してきたNPO法人防災デザイン研究会(Alliance for Disaster Reduction Designs)の30年にわたる取り組みと成果を紹介し、防災デザインの意義と今後に向けた可能性をご来場の皆さんとともに考える機会としたいと思います。

日／時／場所 **1.14 WED ~ 3.25 WED** 入場無料

午前9時30分～午後5時・平日のみ(土日祝は休館)  
立命館大学歴史都市防災研究所・展示ルーム

〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地

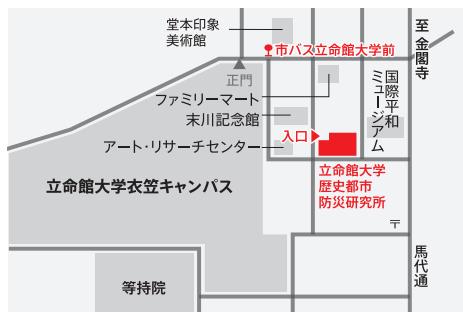
TEL 075-467-8801 <https://r-dmuchi.jp>

※駐車場はありません。市バス・JRバスなど公共交通機関でおこし下さい。

主催：特定非営利活動法人 防災デザイン研究会 (ADD)

協力：立命館大学歴史都市防災研究所 (DMUCH)

DMUCH HP  
アクセスマップ



## 展示構成について

これまで積み重ねてきた私たちの活動には、時代ごとに異なる課題や、仲間との挑戦、そして未来への試みが刻まれています。

本展示では、その歩みを「年表」として大型の壁面にまとめました。

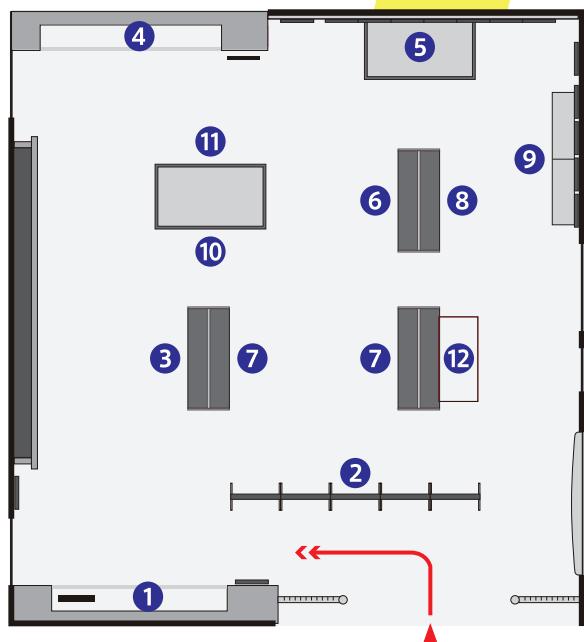
まずは、私たちの活動の全体像と流れをご覧ください。

そのうえで、歴史の中で生まれた重要なトピックや象徴的な出来事を11のテーマとして抜き出し、個別の展示にしています。

各展示は、「なぜそのテーマが生まれたのか」「どのように広がり、誰と関わり、何を変えたのか」を、できるだけ立体的に理解していくだけるように構成しています。全体の流れを示す年表と、焦点化されたテーマの双方を行き来しながら、私たちの活動がどのようにつながり、今へと続いているのかをたどってみてください。

### ■ 各展示コーナー／タイトル

- |                                |                                  |
|--------------------------------|----------------------------------|
| ①はじめの想い                        | ⑦EDM／マリキナプロジェクト(フィリピン)           |
| ②津波ピクトグラム／防災サインシステム            | ⑧地図による災害対応支援                     |
| ③シェイクアウトから始めた「にしのみや津波ひなん訓練」    | ⑨被災者生活再建支援システム                   |
| ④京都、先駆的試み(地方自治体／企業・大学)         | ⑩世界標準に即した災害対応(NIMS)              |
| ⑤洪水ハザードマップの進化／カラーシステム ISO22324 | ⑪あまねく伝えるために<br>～多様なコミュニケーションツール～ |
| ⑥「逃げトレ」津波避難戦略                  | ⑫歴史文化都市の耐防火システムと機器の開発            |



## 展覧会関連イベント

3/11

東日本大震災15年シンポジウム (共催:立命館大学歴史都市防災研究所)  
「来るべき南海トラフ地震にデザインの力をどう生かすか」

Wednesday

地下1階 カンファレンスルーム 開場13:00



※事前に登録フォームでの申込みが必要です。(申込先着順/定員60名) 右のQRコードより申し込みください

13:30 開会挨拶

林 熱男 (防災デザイン研究会 理事長/国立民族学博物館 名誉教授)  
吉富 信太 (立命館大学 工学部 教授/歴史都市防災研究所 所長)

13:40 基調講演

「来るべき南海トラフ地震の被害を激減できるのか」 河田 恵昭 (関西大学 社会安全学部 特別任命教授)

14:10 パネルディスカッション モデレータ

パネリスト

林 春男 (京都大学 名誉教授)

鈴木 進吾 いのちをまもるデザイン

(防災デザイン研究会 理事/国立研究開発法人 防災科学技術研究所)

大窪 健之 もののデザイン

(立命館大学 工学部 教授/歴史都市防災研究所 アドバイザー)

小林 皓介 つたえるデザイン (防災デザイン研究会/GK京都)

井ノ口 宗成 しごとのデザイン (立命館大学 政策科学部 教授)

河田 恵昭 (関西大学 社会安全学部 特別任命教授)

豊田 祐輔 (立命館大学 政策科学部 准教授/歴史都市防災研究所 副所長)

ト部 兼慎 (防災デザイン研究会 理事/GK京都)

有元 裕雅 (防災デザイン研究会)



ディスカッサント

司会

